

！
日本の知恵、
プラスチックの知恵

雨や日差しから守る、
機能美の和傘

雨や日差しから人々を守る、「名脇役」の傘たち。「傘（からかさ）ないときや誰とゆく〜」——童謡「雨降りお月さん」で歌われた、この傘。当時は、唐傘とも呼ばれた和傘がまだまだ多く使われていました。その名前の由来は、大陸の唐や韓（から）から伝来したというほかに、開閉が自由な仕掛けのカラクリ細工からきている説があります。防水のための油や柿渋を塗った和紙を、竹骨に張った日本独特の和傘は、江戸時代の庶民の間で流行し、さまざまな修理技術や独自の再生システムまで生まれました。和傘に秘められた、美しい仕様の技術と物を大切に作る心の伝承。筒中シート防水も、確かな防水性能とそれを施工する技能員による防水技術のバイオニアとして、地球環境に優しいこれからの防水システムを考えています。

和傘

